

読書の秋に

「折々の遊ぶいとまはある人のいとまなしとて書よまぬかな」(本居宣長)

遊ぶ暇がある人も時間がないと言って、本は読まないものだという意味です。今では、テレビやゲームを楽しんだり、インターネットで簡単に情報が手に入ったりするのですから、読書離れが加速しても不思議ではありません。

しかし、人間模様を楽しみながら物語をじっくりと読む、事典などでとことん調べる等は、実に楽しいものです。映画やテレビとは違って、読書は読者自身が登場人物の顔や声、住んでいる場所の様子などを自由に想像できる良さがあります。読書を通して、知られざる世界や自分と違う考え方・生き方などに触れることで、考える力や想像力、感性も育ちます。

本校では、毎日、朝読書を行ったり、図書委員会の生徒による本の紹介を図書室に常時掲示したりして、生徒たちと本との出会いを大切にしています。また、図書室は話題の新刊も充実しています。ご家庭でもお子さまに読書を勧めていただけたらと思います。

私の愛読書を2冊紹介させていただきます。2冊とも図書室にあります。

○『きみの友だち』 重松清 著 (新潮社 2005年)

いろいろな形の友人関係が描かれており、「友だち」って何だろうと考えさせられます。大勢いた方がよいのか？それとも親友と呼べる人が一人いればよいのか？

○『星の王子さま』 サン・テグジュペリ 著 (1943年)

体裁は児童文学ながら、大人たちに向けての示唆に富んでいます。忘れかけていた最も大切なものを思い出させてくれます。読み返すたび新たな発見がある名作です。

学力・学習状況調査等の結果から

4月に実施された全国、県、市の学力・学習状況調査の結果に基づいて、次のとおり課題を把握し、今後の学習指導や生活指導に取り組んでまいります。

1 傾向及び課題について

- ・ どの教科も基礎的・基本的な学習内容については学力が定着している。
- ・ 「話すこと・聞くこと」においては、基礎、活用ともに正答率が高い。
- ・ 国語においては作文、英語においては長文の読み取り、数学においては図形の計量や統計に関する問題に課題が見られる。
- ・ メディアに費やす時間が多く、平日の家庭学習の時間が全国平均より少ない。
- ・ 自己肯定感が低い傾向が見られる。

2 課題に対する取組について

- ・ 各種検査の結果に基づいて個に応じた指導を見直し、授業の改善を図る。
- ・ 授業における話し合い学習により、学習内容の一層の定着を図るとともに、自分の考えを筋道を立てて話す力を育成する。
- ・ 自主的・意欲的に宿題に取り組めるよう、量や質の見直しを図ったり、自主学習ノートを奨励したりする。
- ・ 小学校とも連携した「ノーメディアデー」の取組等により、家庭学習の時間確保を図る。
- ・ 行事や生徒会活動において自主的な活動の場を確保し、達成感と自己有用感を高める。